

展示パネル一覧

学部	タイトル	氏名	学科	掲載年	
人文	文化の謎と社会の秘密を、探りに探る。	未知のことばと出会うために	森岡 卓司 准教授	人間文化学科	2015
	文化の謎と社会の秘密を、探りに探る。	日本の成長戦略と銀行の役割	山口 昌樹 准教授	法経政策学科	2014
	人間の多様な文化と社会科学について学ぶ。	安心してケアできる社会に向けて ケアの社会化とジェンダー公正	山根 純佳 准教授	人間文化学科	2013
	人間の多様な文化と社会科学について学ぶ。	地域資源を活用した、市民による地域づくり	下平 裕之 教授	法経政策学科	2012
	人間の多様な文化と社会科学について学ぶ。	映像の魅力を追及し、映像を通して今を見つめる	阿部 宏慈 教授	人間文化学科	2011
	人間の多様な文化と社会科学について学ぶ。	紅花と山形の歴史研究—幕末山形の経済発展に学ぶ—	岩田 浩太郎 教授	法経政策学科	2010
	人・社会・文化の関係をさまざまな角度から学ぶ。	歴史と宗教の知的な旅路	松尾 剛次 教授	人間文化学科	2009
	作品の生命を求めて	美術作品は生きている。	阿部 成樹 准教授	人間文化学科	2008
	過去から現代へ、現代から過去へ イギリス経済史と環境経済学	研究の転機：環境経済学 過去と現代との往復 三浦新七との出会い	國方 敬司 教授	法経政策学科 西洋経済史、環境経済学	2007
	時を越え 国境を越え 人と文化を考える ナスカの地上絵についての学際的研究	ナスカの地上絵についての全体像 地上絵の新発見は協力の副産物 地域に根ざし世界を目指す	阿子島 功 教授 渡邊 洋一 教授 坂井 正人 助教授 本多 薫 助教授	人間文化学科 環境地理学 人間文化学科 認知心理学 人間文化学科 文化人類学 人間文化学科 人間情報科学	2006
	言葉は人生を変える。 山形から発信する最先端のメタフィクション分析	言葉と文芸のカー根元的虚構論メタフィクションとパラ ドックス 山形からの発信	中村 三春 助教授	人間文化学科 日本近代文学	2005
	現場に立ち、考える科学 山形を視て見えてくるもの…	百聞は一見にしかずの科学 山形城の位置 景観の持つ意味	山田 浩久 助教授	人間文化学科 都市地理学	2004
	あなたの町にヒカリを！ 「タウン・ドクター大川」の「地域づくり」	研究課題 条件不利地域 過疎と出稼ぎ 大川流「地域づくり」論 タウン・ドクター	大川 健嗣 教授	総合政策科学科 農業経済学・地域経済論	2004
文字と国家・インカ帝国、 ナスカの地上絵をめぐる。	「文字と国家」「インカ帝国」「ナスカの地上絵」	坂井 正人 助教授	人間文化学科 文化人類学	2003	
地域教育文化(教育)	地域力の形成に向けた人間支援と地域支援の創造	武道を通し、日本文化を発信する。	竹田 隆一 教授	地域教育文化学科	2015
	地域力の形成に向けた人間支援と地域支援の創造	自然景観を読み取り災害を回避	八木 浩司 教授	地域教育文化学科	2014
	地域力の形成に向けた人間支援と地域支援の創造	オペラを通した人づくり	藤野 祐一 教授	地域教育文化学科	2013
	地域力の形成に向けた人間支援の創造	子どもたちと築く復興まちづくり	佐藤 慎也 教授	地域教育文化学科	2012
	地域力の形成に向けた人間支援と 地域支援の創造。	医療費削減、介護軽減へ向けて	三原 法子 講師	生活総合学科	2011
	地域力の形成に向けた人間支援と地域支援の創造。	個人差を科学する	大村 一史 准教授	地域教育学科	2010
	環境問題に大きな関心が集まる今、必要なこと。	サステナブル建築 環境時代のコンクリート・建築材料	西脇 智哉 准教授	生活総合学科	2009
	中東諸国家 運営メカニズムの解明—地域研究と計量政治分析のコラボレーション—	イスラエル現代政治研究。 地域研究と政治学との接点。	濱中 新吾 准教授	生活総合学科	2008
	何を、どのように、なぜ「食べる」のか？ あらためて考えたことがありますか？	「食育」って？“おらが県”の食育はどうなってる？ どうする？ きちんと食べて、よく動く！	大森 桂 准教授	生活総合学科 食教育、健康教育	2007

学部	タイトル		氏名	学科	掲載年
	市民に必要な科学的能力の再考 新しい理科教育の考え方と科学的リテラシーの育成	再考:理科を学ぶこと 新しい理科教育の考え方—科学的リテラシー育成— 未来を託す人材の育成を目指して	今村 哲史 教授	地域教育学科	2006
	Something Newを求めて。 最適化の先にあるもの。	なぜなぜ、どうして？ 未知との遭遇	瀬尾 和哉 助教授	生活総合学科 熱流体力学	2005
	そこにあるアート。 地域の中の現代アート	アートが地域を変える アート・スペースとしての住居展示場 野外環境とアート 蔵と現代アートとの出会い	小林 俊介 助教授	美術教育 美術論・絵画	2004
	一期一音。 人間はいつの時代も、音とともに生きてきた	アナログの音、生の音 一音入魂 アンサンブル教育の重視	渡辺 修身 助教授	音楽教育 指揮法	2004
	人間を科学し未来をクリエイトする。	人間を見つめる 人間を追求する 人間を進化させる(or人間の進化を支援する)	浅井 武 助教授	保健体育 スポーツバイオメカニクス スポーツ工学	2003
理	科学するところを発信します。	アイスモンスターから地球を考える	柳澤 文孝 教授	地球環境学科	2015
	科学するところを発信します。	人類の生存を支える植物の機能を理解する	宮沢 豊 准教授	生物学科	2014
	科学するところを発信します。	極限宇宙を見る新しい「目」	中森 健之 准教授	物理学科	2013
	科学するところを発信します。	より正確的に自然現象の解明を—微分方程式の高精度の数値解法で—	方 青 教授	数理科学科	2012
	科学するところを発信します。	環境調和型有機合成 環境に負荷をかけない合成方法の開発	栗山 恭直 教授	物質生命化学科	2011
	科学するところを発信します。	北極海から地球を探る 過去は未来への鍵、現在は過去への鍵	Richard W. Jordan 准教授	地球環境学科	2010
	未来を見据え、本物の科学を身につける。	目に見えない新しい原子集団の新しい機能を探索！	栗原 正人 准教授	物質生命化学科	2009
	ともに生きる生物の進化をひもとく	植物をめぐる生き物のつながり。生物のつながりと共進化。山形の豊かな森で考える生物の進化。	横山 潤 准教授	生物学科	2008
	極微の世界をのぞいてみよう！ 物質の究極構造の秘密に迫る	極微の回転の謎を探る“スピン”とは？ 陽子スピンの謎 COMPASS国際共同研究 研究の要、大型偏極標的	岩田 高広 教授	物理学科 高エネルギー物理学	2007
	論理の世界を突き進む 見えない真理を見つけ出せ！	存在しないけど正しいもの 存在しないけど感じられる世界 存在しない世界が大きな顔をする！？	脇 克志 助教授	数理科学科 代数学	2006
	太古の地球に出会う。南極から地球を考える。	地質・岩石には地球の歴史が記録されている 南極の岩石から太古の大陸を知る 地球環境学科と南極	加々島 慎一 助手	地球環境学科 地質学・深成 岩石学	2005
	レドックス反応の秘密を解く！ 原子・分子を使って化学の謎に迫る	モリブデンを含む酵素のモデル化合物をつくり、その反応性を解明 化学反応はエネルギー	鶴浦 啓 助教授	物質生命化学科 電気化学	2004
	ようこそ。クラゲ天国へ生命38億年の進化の 仕組みをバラオ諸島の海水湖で明らかにする！	山形大学理学部生物学科の研究プロジェクト バラオ諸島の海水湖は進化の実験室！ 親日的なバラオの人々と地球環境問題	半澤 直人 助教授	生物学科 進化遺伝学	2004
宇宙を支配する法則を根源に さかのぼって解明する。	宇宙から降ってくるX線・ガンマ線の不思議を解明～ 山形大学理学部物理学科～ 宇宙を見て、感じて、楽しもう！	柴田 晋平 教授	物理学科 宇宙物理学高エネルギー天文学	2003	
	人に優しく、新しい医療提供の姿を追い求めて。	政界の最先端で、重い出血病と戦う！	一瀬 白帝 教授	医学科 分子病態学	2015
	人に優しく、新しい医療提供の姿を追い求めて。	全ては患者さんのために	嘉山 孝正 教授	大学院医学系研究科 生命環境医学専攻 脳神経外科学	2014
	人に優しく、新しい医療提供の姿を追い求めて。	女性の健康と次世代の命を守る	倉智 博久 教授	産科婦人科学講座	2013
	人に優しく、新しい医療提供の姿を追い求めて。	観察し、考える	早坂 清 教授	小児科学講座	2012
	人に優しく、新しい医療提供の姿を追い求めて。	がん医療に専門家の英知を結集	根本 建二 教授	附属病院がん臨床センター	2011

学部	タイトル	氏名	学科	掲載年	
医	人に優しく、新しい医療提供の姿を追い求めて。	脳の不思議に迫る —高次脳機能障害への取り組み—	鈴木 匡子 教授	大学院医学系研究科 臨床的機能再生部門 高次脳機能障害学講座	2010
	人に優しく、新しい医療提供の姿を追い求めて。	「がん細胞の謎」解明から独創的がん治療法開発へ	北中 千史 教授	医学科腫瘍分子医科学	2009
	CKD・CVD制圧を目指す 包括的アプローチの確立	メタボリックシンドロームがひきおこすCKDとCVD。 病気は生活習慣と体質の組み合わせでおこる。 病気の早期発見・治療と予防。 私達の目指すもの。	久保田 功 教授 今田 恒夫 准教授	医学科 循環・呼吸・腎臓内科学分野	2008
	パーキンソン病の根本的治療法の開発 病気の進行・悪化を抑える新薬の開発に向けて	三浦綾子氏の「闘病日記」 パーキンソン病とはどんな病気？ 虹に向かって・・・山形大学の取り組み	加藤 丈夫 教授	大学院医学系研究科 生命環境医科学専攻	2007
	国産の世界先端眼科検査装置 光干渉断層計「EG-SCANNER」の開発 世界最先端装置を山形発の技術に基づき山形の 企業により実用化	光干渉断層計とは？ 装置は「純山形産」 眼科診療を変えた画期的な装置	山下 英俊 教授	医学科 視覚病態学分野	2006
	地域特性を生かした 21世紀COEプログラム採択	個の健康科学をめざして	河田 純男 教授	医学科 消化器病態制御内科学分野	2005
	未来の医学へ新ルート。生体システムの工学的 理解と医学へのアプローチ	医学系研究科生命環境医科学専攻生命情報工学講 座・医学と工学の関わり 生体機能の統合的理解を目指して	中村 孝夫 教授	大学院医学系研究科生命環 境医科学専攻生命情報工学 講座	2004
	命はめぐるスパイラル。 遺伝子改変マウス(トランスジェニックマウス・ノックアウト マウス)を用いた遺伝子機能解析	遺伝子は体で何をしているか？ 遺伝子改変マウスを利用して体での遺伝子の働きを 解明する	中島 修 助教授	遺伝子実験施設 分子生物学	2004
	クオリティ・オブライフ。	動脈硬化性疾患に対する総合的な治療法の確立をめ ざして	貞弘 光章 教授	医科学 循環器・呼吸器・小児 外科学分野	2004
	地域特性を生かした最先端の遺伝子プロジェク ト—文部科学省21世紀COEプログラム—	オーダーメイド医療を目指して「遺伝子と病気」、「遺伝 子と薬」の関係	河田 純男 教授	医学科 消化器病態制御内科 学21世紀COE拠点リーダー	2003
工	人々を幸せにするためのモノづくり。	未来を創る、テレロボティクス	妻木 勇一 教授	大学院理工学研究科(工学 系) 機械システム工学専攻	2015
	人々を幸せにするためのモノづくり。	人・生命・心をつなぐ応用生命システム工学	横山 道央 准教授	大学院理工学研究科(工学 系) 応用生命システム工学 専攻	2014
	人々を幸せにするためのモノづくり。	健康長寿社会に貢献するバイオ化学工学—有機合成 から細胞培養まで—	田中 賢 教授	大学院理工学研究科(工学 系) バイオ化学工学専攻	2013
	人々を幸せにするためのモノづくり。	医療への貢献をめざす機械工学	小沢田 正 教授	大学院理工学研究科(工学 系) 機械システム工学分野	2012
	人々を幸せにするためのモノづくり。	柔らかい有機エレクトロニクス 環境に優しく、豊かな生活のために	時任 静士 教授	有機エレクトロニクス研究セ ンター	2011
	人々を幸せにするためのモノづくり。	未来を豊にするロボティクス	井上 健司 教授	大学院理工学研究科 応用 生命システム工学分野	2010
	広い視野に立ち、新分野を開拓する能力を育て る。	世界のELの明かりで世界の未来を明るく照らす。	城戸 淳二 教授	大学院理工学研究科 有機デバイス	2009
	地域に根付き、真に開かれた大学を目指して。	食の概念に革命を起こす 工学の考え方による米粉100%の製パンの成功！！	西岡 昭博 准教授	地域共同研究センター	2009
	手触りの謎にせまる	“モノの手触り”の正体。 皮膚の上では何が起きているの？ 手触りがヒトとそっくりの人工皮膚。	野々村 美宗 准教授	大学院理工学研究科 物質化学工学分野	2008
	ケアコミュニケーション 医療・介護用ネットワークシステムの開発	患者中心のネットワークサービス 空間共有によるケアコミュニケーション ウェアラブルバイタルセンサによる健康モニタリング ドクターエージェントによるアドバイス	小山 明夫 教授	大学院理工学研究科情報科 学専攻	2007
	脳の機能とアルゴリズムの解明 “美しい”動きを創る脳のアルゴリズムの工学的 実現に向けて	“美しい”動きを創る脳 予測が“美しい”動きを創る “美しい”動きを創る運動プログラムの二つの課題	山口 峻司 教授	生体センシング機能工学生 計測科学講座	2006
	ナノテク進化系。 カーボンチューブの未来を探る。	カーボンナノチューブは材料工学のDNA プリンから泡、墨汁から光沢膜 電子レンジとナノチューブでタンパク質をピンポイント 攻撃	佐野 正人 助教授	機能高分子工学科 高分子物理・表面科学	2005
	アメージャーバブソディ。 動くものの面白さに魅せられて	動く溶液、分子集団の設計	塩井 章久 助教授	物質化学工学科 化学工学	2004

学部	タイトル	氏名	学科	掲載年	
	原子ひとつ狙い撃ち。 原子1つ1つを操り新機能性薄膜、デバイスを創る	ナノテクはもはや原子スケールの時代へ 電子の力で原子を堆積するよごれない携帯電話、曇りのないディスプレイができればいいな 太陽光からエネルギーをもっと安くたくさん取り出した い	広瀬 文彦 助教授	電気電子工学科 半導体エレクトロニクス	2004
	有機の光で世界を照らす！ 次世代フラットパネルの開発。	白色発行有機EL技術の発明 有機ELの研究で世界をリードする	城戸 淳二 教授	機能高分子工学科 電子・光機能性有機材料	2003
農	農学を通じて、生命、自然、環境の重要性を学ぶ。	生産者に使われる農業技術を目指してフィールドに立つ	片平 光彦 准教授	食料生命環境学科	2015
	農業を通じて、生命、自然、環境の重要性を学ぶ。	作物の進化や多様性を明らかにし新たな育種への道を拓く	笹沼 恒男 准教授	食料生命環境学科	2014
	農業を通じて、生命、自然、環境の重要性を学ぶ。	都市と農村の交流を生む仕組みについて研究しています	渡辺 理絵 准教授	食料生命環境学科	2013
	農学を通じて、生命、自然、環境の重要性を学ぶ。	私たちの暮らしに安全な水と食料を	渡部 徹 准教授	食料生命環境学科	2012
	農学を通じて、生命、自然、環境の重要性を学ぶ。	世界の森林を見つめて気候変動を考える	ロベス・カセレス・マキシモ・ラリー准教授	附属やまがたフィールド科学センター	2011
	農学を通じて、生命、自然、環境の重要性を学ぶ。	植物やカビは生体内でテンペルをどのようにして作るのか その仕組みを探る	豊増 知伸 准教授	食料生命環境学科	2010
	フィールドで育つ夢、フィールドで育てる未来。	食料自給率向上のために飼料イネ・飼料用米をリードする	吉田 宣夫 教授	附属やまがたフィールド科学センター	2009
	森を使って 守る方法を考える	なぜ農学部で森なのか？ なぜ使って安全なのか？ 例えば、ブナの実で考えよう。	小山 浩正 准教授	生物環境学科	2008
	生物数決定の法則解明をめざして 持続的な自然と人間との共存のために	地球上の多様な生物の数を決定する法則性の解明に ロマンを求めて天敵で害虫を退治 外来種問題への対応 熱帯での生物多様性創出とその維持機構の解明をめざして	安田 弘法 教授	生物生産学科 動物生態学	2007
	安全・安心の農産物を生産する 古くて新しい、お湯を使ったイネ種子消毒技術の開発	作物の宿命と消費者ニーズ イネのいもち病は種子から伝染する 農薬を使わない防除技術の開発	生井 恒雄 教授	生物生産学科 植物病理学	2006
	ポリフェノールを見つめる。 健康を支える食品素材・成分の探索と創生	食品素材・成分を追う ポリフェノールの体内の旅を見つめる テラーメイド食品の到来を見据えて	五十嵐 喜治 教授	生物資源学科 食品栄養化学	2005
	夢をつなぐデジタル米。 系統的に統合された水田一枚一枚の水稲管理システム	今稲作で何が起きているか 稲作をサポートする アメダスはうちの田んぼのデータに使えない これからどうするの	安藤 豊 教授	生物生産学科 栽培土壌学	2004
	古のプロジェクトX。 「白砂青松」「海岸林」の多面的な機能とその再生をめざして	「庄内砂丘」・「クロマツ海岸林」 「飛砂」・「白砂青松」 「海岸林の再生」・「日本海岸林学会」	中島 勇喜 教授	生物環境学科 森林影響学	2004
	懐かしくて新しい、在来野菜に関する研究を始めました。	在来野菜とは 在来野菜を見直す意義 学際的な在来野菜研究へ	江頭 宏昌 助教授	生物資源学科 植物遺伝資源学分野	2003
基盤教育院	より良く、より強く生きるための人間力を育成する。	分子の形や動きを探る	飯島 隆広 准教授	基盤教育院	2015
	より良く、より強く生きるための人間力を育成する。	地域と連携して山形県産農産物の機能性を探る	渡部 絵理子 准教授	基盤教育院	2014
	より良く、より強く生きるための人間力を育成する。	地域の歴史遺産を発掘する	荒木 志伸 准教授	基盤教育院	2013
	より良く、より強く生きるための人間力を育成する	歴史と文化を守り伝えるために	佐藤 琴 講師	基盤教育院	2012
	より良く、より力強く生きるための人間力を育成する	基盤教育で社会人基礎力を磨く	山本 陽史 教授	基盤教育院	2011